

令和3年度札幌市重点要望の主な要望結果

	要望項目	主な要望結果
産業・活力	1 北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の早期完成	○整備新幹線の国費分事業費について、令和3年度当初予算で804億円確保された（前年度同額）。 ○青函トンネル内の最高速度について、年末年始に時速210kmに引き上げた営業運転が実施されたほか、他区間においても最高速度の引上げに係る計画が公表された。
	2 札幌都心部における交通結節機能の強化	○創成川通について、令和3年度からの新規事業化が決定された。 ○札幌駅交通ターミナルの事業計画策定に向けて、令和3年度以降も検討会の開催や各種調査が継続される見通し。
	3 国際競争力の強化に向けた都市の魅力向上	●新千歳空港の機能強化について令和3年度当初予算で誘導路複線化（平行誘導路・末端取付誘導路）や滑走路端近傍のデアインシシングエプロンの整備経費が計上された。
	4 冬季オリンピック・パラリンピックの招致	○令和2年度補正予算及び令和3年度当初予算に、バリアフリー車両の導入や鉄道駅のバリアフリー化に係る経費が計上された。
暮らし・コミュニティ	5 子ども・子育て支援の充実・強化	●令和3年度当初予算で医療的ケア児に対する各種支援が拡充された。 【保育所】看護師設置に係る補助単位の見直しや補助額を拡充（3,957千円/市→5,320千円/施設）。 【学校】看護師配置について2,400人分の予算を確保（前年度比300人増）。 【障がい】障害福祉サービス報酬改定により看護職員加配加算の要件を緩和。
	6 多様な教育環境の整備	○小学校の学級編制について、令和3年度から5年かけて40人から35人へ計画的に引き下げるよう義務標準法等が改正された。
	7 介護基盤の充実	○介護従事者の確保について、福祉系高校における修学資金や、新たに介護業界に就職するための支援金の貸付事業が創設された。
	8 国土強靱化に向けたまちづくり	○「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が閣議決定され、激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策など各分野について更なる加速化・深化することとされた。（～令和7年度） ●大規模盛土造成地変動予測調査について、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が閣議決定され、国費率の嵩上げ（1/3→1/2）が令和4年度まで延長された。 ○介護施設等の非常用発電設置補助について、令和3年度当初予算において支援が継続された。 ○学校施設整備について、資材費及び労務費の動向を踏まえ国庫補助に係る建築単価が改善された（RC造小・中学校校舎の場合、建築単価219,700円→231,900円（前年度比5.5%増））。
エネルギー転換 低炭素社会	9 エネルギー需給構造の多様化	○令和3年度当初予算において、熱導管整備のほか、水素ステーション整備・FCV導入、ZEH・ZEBの普及拡大に対する支援が継続された。
	10 環境負荷低減に向けた取組の推進	●アスベストを使用した建築物の改修・解体等に係る補助制度が、令和3年度以降も延長されたほか、環境モニタリング制度に関して、国の中央環境審議会から大気濃度測定制度化について速やかに検討する必要があることが答申された。

注1 「●」は、要望結果に基づき、令和4年度札幌市重点要望から外すもの。

注2 新型コロナウイルス感染症対策については、全般的に随時見直しがなされている。